



こども一日司書

5/11・12

こどもの読書週間（4月23日～5月12日）にちなみ町内の小学生5人が、静内図書館で『一日司書』を体験しました。

11日には、高静小学校5年の一ノ尾花さんと田村風花さんが体験。幼児を対象とした読み聞かせや図書の整理のほか、カウンター業務では、懸命にパソコン端末を操作しながら、貸し出しや返却業務にあたりました。2人は「司書の仕事は忙しい。パソコン操作が難しかったです」と話していました。



消防フェスティバル

4/27

日高中部消防組合消防署三石支署による『消防フェスティバル』が同署で開かれ、約50人の親子が参加しました。

参加した子どもたちは、ロープを渡る「キッズレンジャー体験」や、実際に防火服を着用しての「放水体験」、火災現場を想定した煙の中を脱出する「煙脱出体験」など、さまざまな消防体験に挑戦し、楽しみながら防火意識を高めました。



イメージアップフォト事業

4/25

町は、町の統一感を出すとともに、町全体のイメージアップを図ることを目的に、町の魅力をPRする8種類の写真パネルを宿泊施設や道の駅、観光情報センターぼっばに設置しました。

写真は、平成23年度に実施した第1回観光フォトコンテストの入賞作品で、町を象徴する桜並木や牧場風景、昆布漁などの景観を使用。写真右下のQRコードを読み取ると、公式ホームページの観光フォトコンテスト紹介コーナーが閲覧できます。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



シベチャリ武四郎まつり

5/12

道アイヌ協会新ひだか支部（大川勝支部長）による『第1回シベチャリ武四郎まつり』がシャクシャイン記念館で開かれ、約100人が参加しました。

同支部が昨年5月、松浦武四郎記念碑を建立したことに合わせて初開催したもので、北大アイヌ・先住民研究センターの佐々木利和教授による勉強会の後、カムイノミと、武四郎の調査に協力した先人を供養するイチャルパが行われ、参加者は、武四郎とアイヌ民族が築いた絆に思いをはせました。



桜舞サッカーフェスティバル

5/4・5

第16回静内ロータリークラブ・日高しんきん杯『桜舞サッカーフェスティバル』が、静内川左岸緑地公園サッカー場で開かれ、全道各地の小学生サッカーチーム・24チームが出場し、熱戦を繰り広げました。

町内からは、高静サッカースポーツ少年団とArea FC、三石エスペランスの3チームが出場。惜しくも決勝トーナメントには進みませんでしたが、優勝を目指し懸命にプレーしていました。

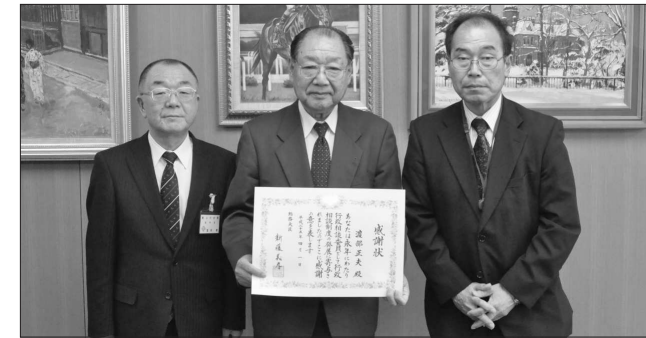


集まれちびっこ消防士

4/27

春の火災予防運動にちなみ、日高中部消防組合消防署による『集まれちびっこ消防士』が、同署で開かれ、約150人の親子が参加しました。

参加した子どもたちは、防火映画を鑑賞後、新消防庁舎の見学や放水体験、模型の消火器を使った消火器体験のほか、本物の消防車両に乗り込むなど、一日消防士を楽しみました。



総務大臣感謝状贈呈

4/24

長年、行政相談委員として地域住民の相談に応じてきた渡部正夫さん（静内吉野町）が平成24年度末で退任されるにあたり、総務大臣から感謝状が贈られました。

渡部さんは、平成元年に行政相談委員に委嘱されて以来、毎月、役場静内庁舎に行政相談会場を開設し、行政サービスに関する苦情や行政のしくみなど、地域住民からの多種多様な相談に丁寧に対応されてきました。



牧野への入牧

5/15

区画整理された牧区への入牧が始まり、25頭の肉用牛が広い牧草地に放たれました。預けた農家の方々は、秋の退牧までにたくましく成長することを願っていました。



アイヌ文様グッズ販売

5/11・12

町は、しずないイオル事業の一環として、アイヌ文様を施したTシャツやマグカップ、ストラップ、ハンドタオルなどを桜まつり会場で限定販売しました。



春の地域安全運動出動式

5/10

静内警察署と防犯関係団体は、春の地域安全運動（5月11日～20日）を前に、同署前駐車場で出動式を行い、地域の安全・安心と犯罪や事故の未然防止を誓いました。



観光情報コーナー新設

5/1

町は、観光情報センターぼっば内の空きスペースを活用し、町内のイベントや日高管内の観光情報を紹介する「観光情報コーナー」を新設しました。